

世界初の純日本製、量産小型四輪駆動車「くろがね四起」修復計画
クラウドファンディング「READYFOR」にて目標額 1000 万円を突破しました！
プロジェクトの支援金募集は、2014年5月29日(木)23:00まで行っています！

クラウドファンディングサイト READYFOR において、NPO 法人防衛技術博物館を創る会代表小林雅彦は、2014年2月28日より目標金額 1000 万円で「70年の時を越えて、幻の国産車「くろがね四起」復元計画始動！」プロジェクトをスタートしました。支援募集開始から 36 日が経過した 4 月 5 日に支援金額が 1000 万円を突破したことをお知らせいたします。現在、支援総額 10,417,000 円を集めています。又、支援金額合計が 1300 万円を集めることができれば、ドキュメンタリー映像の作成も実現することができます。この映像制作を実現するために 2014 年 5 月 29 日まで支援を募集しています。

■支援額合計 1300 万円でドキュメンタリー映像として記録保存することが可能に

この資金は、日本で初めて造られた四輪駆動乗用車「くろがね四起」を修復に充てられます。今まで日本に一台もないと思われていた幻の国産車を再び走らせるため、残り 52 日間となった今もなお支援が集まっています。更に支援が集まれば、くろがね四起初期型の修復時の様子を映像として記録資料を遺すこと、また石川県「日本自動車博物館」に現存している後期型と共同展示への試みなど、「先代の苦労や努力、その技術力」を後世へ伝えていくことに充てることができます。合計で 1300 万円を集めることができれば、自衛隊関係の映像製作のプロフェッショナルである、千葉県船橋市「株式会社あだち」に撮影・編集を依頼し、30～40 分程度のドキュメンタリーを作製し、今回ご支援頂いている方々にも DVD として配布できる予定です。



READYFOR? 3 目標に達せられず残念。プロジェクトは終了しました！

READYFOR とは

プロジェクトを始める

プロジェクトを探す

70年の時を越えて、幻の国産車「くろがね四起」復元計画始動！

このプロジェクトをウォッチする

ホーム 新着情報 応援コメント一覧 523

小林 雅彦
NPO法人「防衛技術博物館を創る会」の代表。他の項には当たり前のようであるが、なぜか日本には無い戦車博物館を設立するために奔走中です。

現在の達成金額 **10,016,000** 円

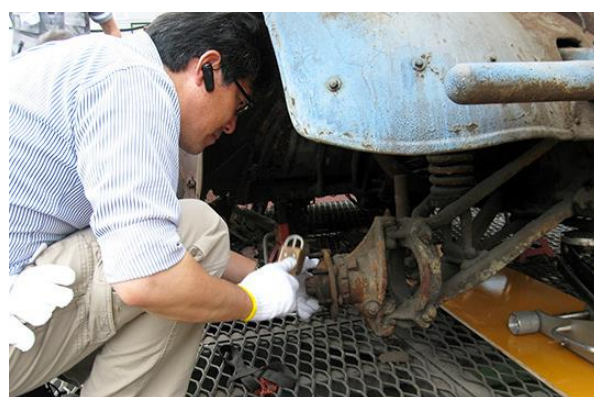
目標金額 **10,000,000** 円

スポンサー募集終了まで **54** 日

支援した人数 **523** 人

このプロジェクトの支援に参加する

このプロジェクトは 5月29日(木) 午後11:00の時点で、10,000,000円以上集まった場合のみ、決済が完了されます。



▲くろがね四起の復元作業の様子

■クラウドファンディング READYFOR の最高支援額額に

本プロジェクトは、現在までで延べ 556 人の方から計 10,417,000 円のご支援を頂いており、2011

年3月にオープンした READYFOR において公開されたプロジェクトの中で最高額となっております。1万円以上のご支援を頂いた方全員に、「くろがね四起」復元にご協力頂いた証明として、お名前を入れたプレートが製作され、修復に車両展示に併設されます。

■「機械技術遺産」として残し後世に伝えていきたい

「くろがね四起」は、実用乗用四輪駆動車として日本で初めて開発、製造、使用された車です。正式名は九五式小型乗用車、愛称として「くろがね四起」と呼ばれます。1935（昭和10）年日本軍に制式化、以降終戦まで改良を加えられながら生産され、戦後は復興のためトラック等に改造されて使い潰される運命にありました。そして今回、70年の時を経て今まで日本に一台もないと思われていた幻の「くろがね四起」の初期型を、実際に見ること、そして走らせるが出来ればこれまでにない大きな前進となります。自動車技術大国と呼ばれる日本ですが、その源流の一つとなる自動車をつくり上げた日本人の誇るべき技術を後世に伝え、今後も大切な遺産として残していく努力をしていく必要があると感じています。



【プロジェクトについて】

<https://readyfor.jp/projects/kurogane4ki>

「70年の時を越えて、幻の国産車「くろがね四起」復元計画始動！」

支援者募集期間：2014年5月29日(木)23:00まで

■READYFOR (<https://readyfor.jp/>) について

「READYFOR」は、『誰もがやりたいことが実現できる世界』を目指し、2011年3月末にサービスを開始したクラウドファンディング型のプラットフォームです。何かをやりたいと思った“実行者”が、その夢と自分の想いをプラットフォーム上でプレゼンテーションし、共感した人がそのプロジェクトに対して支援ができます。支援がプロジェクト達成必要金額に達した場合のみプロジェクトが成立するようになっています。

プロジェクト実現までのプロセスを実行者がプラットフォーム上で共有することで、支援者が一緒になって夢を実現できる仕組みです。これまでに、約770個以上のプロジェクトが立ち上がり、およそ3万7千人から約5億円の資金を集めています。「READYFOR」は、一人ひとりが地球に生きる人間として日本・世界のコトを当事者として考え、アクションを起こすことで、社会を変えることができるプラットフォームの提供を目指しています。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ】

NPO 法人防衛技術博物館を創る会：事務局 E-mail: tank@k-m-d.co.jp

READYFOR 米良はるか TEL: 03-5834-7032 E-mail: press_readyfor@ohma-inc.com